

## 令和 6 年度 富谷市立成田東小学校 学校関係者評価書

令和 7 年 2 月 1 4 日

学校関係者評価委員会

### 1 総評

#### (1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

①豊かな心の育成→毎日の「挨拶・返事・くつそろえ」の凡事徹底の継続指導中。

児童会のなりひがアルカスの活動・多様な異年齢の縦割り活動実施。

②確かな学力の育成→市内共通「学び合い」の指導とタブレットを活用した学習指導実施。

③開かれた学校づくりの推進→学校だよりや情報等メール配信。「音楽朝会」実施。

④安心・安全な学校づくりの推進→いじめのない学校/居場所づくり・校内体制の整備。

登下校時見回りと定期的な子供保護者への注意喚起。

安全な学校を維持するための施設管理・修繕。

⑤健やかな体の育成→成田中学校体育科と小中連携（5・6年ハンドボールの授業実践）。

体育授業導入時の体を楽しく動かす取組・Web 縄跳びや外遊び奨励。

⑥志教育の推進→富谷市「つなぐ取組」地域のボランティアさんと交流。外部講師活用、福祉・命（4年）・キリバス/ふるさと（5年）・職業について（6年）。

今年度も多くの保護者や地域の方々に学校を直接見に来て頂く機会が多かった。実際に横断歩道で5・6年生の子供たちから挨拶をする姿や、授業に臨む姿が立派だという感想や、学校や保護者の様子が明るくなったとの御意見をいただきました。

#### (2) 成果について

・家庭や地域の方へ都度メールで情報発信を実施していることに好評をいただいた。

・異年齢の縦割り活動は、子供たちの主体的な活動で、上学年がリーダーとして試行錯誤しながら活動する力・下学年とコミュニケーションをとろうとする力を養成し、失敗も経験するが、子供たちの自己肯定感を向上させる取組となったことを報告した。

・富谷市つなぐ取組のボランティアの皆様からの支援と交流から、子供たちと地域の方との「つながり」が生まれていることを述べた。また、様々な大人が子供に関わって話を「聞かせる」機会は子供にとって貴重な機会を与えることも共通理解をさせていただいた。

・いじめ問題への取組については、困っている子供を独りにしない取組、話を聴く、保護者にも情報提供する、子供・保護者との話せる関係づくりが大事であることを確認した。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ・本校の門扉は高さが低く、施錠や見回りを強化しても、侵入の不安が払拭できないとの心配の声をいただいた。市に対して、そうした声があることや安全な門扉の設置を要請しつつ、校内の施設管理・危機管理体制を徹底確認することを約束した。
- ・その他・タブレット使用宿題と学力差について→次年度教職員の「授業力」研修予定。
  - ・ヘルメット着用の努力義務について→校内で定期的に指導・保護者にも啓蒙。
  - ・保健室利用状況と健康状態について→保健だより情報等メールで発信予定。
  - ・なりひがアルカスについて→活動時にはメール等で情報発信し周知を図る。

2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	・学校ホームページは子供たちの学校での活動の様子を公開した「なりひが日記」を掲載し、地域・保護者に対して広く情報発信していると好評をいただいた。 ・保護者の表情が明るい。 ・ゲストティーチャー（外部からの講師）を迎えての活動がたくさんあり、子供たちへの刺激となっている。 ・生徒の報告・保護者の話に耳を傾けることが大事である。 ・安全管理で門扉に不安がある。（上記） ・保護者が集まる機会を意識的に設定し、つながりを強くしていくことが大事ではないかという御意見をいただいた。無理なく顔を合わせられる行事等を検討・実施していきたい。
	2 魅力ある学校	B	
	3 施設・設備	B	
	4 安全管理	B	
	5 教職員の資質の向上	B	
	6 特色ある教育活動等	A	
教育課程	1 確かな学力	B	・タブレットの使用について、家庭でのかかわりがあるかないかで学力に差が出ないか心配であるとの意見が出た。教職員の「授業力」について次年度は研修の機会を設ける予定。また情報モラルの指導についても児童の発達段階に合わせて適切に指導に当たり、家庭にも随時情報を発信していく。 ・勉強も運動も新しいことを体験させてあげたい。外に出ない子供たちへの対応も検討をとの御意見をいただいた。今後楽しく体を動かす取組について学校全体で検討していく。 ・努力義務ではあるがヘルメット着用する子供が少ないので家庭できちんと教えることだと思うが、学校からも発信を。毎春に交通安全教室を実施し、ヘルメット着用について大和警察署の協力をいただいて指導している。秋も交通安全協会成田支部の御協力で安全教室を実施した。定期的に交通安全・防犯防災など命を守ることを指導し情報発信していく。
	2 豊かな心身	B	
	3 特別活動	B	
	4 生徒指導・教育相談	B	
	5 特色ある教育活動等	B	
課題教育	1 環境教育	B	・タブレット活用について「紙に書く」「紙を読む」という授業も必要であるとの声をいただいた。 ・子供たちの保健室の利用状況や健康状態など保健便りの情報などで把握したいとのことだったので、保健便りをメール配信していく。 ・「なりひがアルカス」とは何のための活動なのか、子供たちも理解しているのか、見えないことがあるとの御意見をいただいた。学校全体で情報共有を行い、児童会全体で取り組むことや、警察と連携した様々な活動がなりひがアルカスとなることを確認した。活動時には情報発信し、「なりひがアルカス」の知名度を上げていく。
	2 情報教育	B	
	3 特別支援教育	B	
	4 図書館教育	B	
	5 健康教育	B	
	6 特色ある教育活動等	B	
地域との連携について		A	・地域の人々が学校に足を運び、物づくりや体験の学びの機会があり子供たちの成長に良いと御意見をいただいた。今後も市「つなぐ取組」地域の方々と良好な関係を築いていく。
いじめ問題への取り組み		B	・自分自身を大切にすること、他者を認めることの大切さを家庭はもちろん、学校でも指導して欲しいとの御意見をいただいた。今後も学校は子供の「居場所」づくり、子供・保護者との話せる関係づくりを行っていく。